

第74回 明末清初

1 女真族の台頭

- ・明が衰退を続けるなか、中国東北部ではツングース系の（ ）が毛皮や朝鮮人参などの交易を行い、勢力を伸ばしていた。
→1616年、建州部の（ ）が女真を統一し金（後金）を建国した。



ヌルハチ

明が豊臣秀吉との戦いで混乱している時に、力を伸ばした。なにより名前がステキ(笑)

☆（ ）（1616～1636年国号改称～1912年）

都…盛京（瀋陽）→北京

◆ヌルハチ（太祖）（在位 1616～1626年）

- ・1619年、サルフの戦いで明を破り、瀋陽を占領して都とした。
- ・モンゴル文字を応用した（ ）を作成した。
- ・血縁・地縁集団を再編成した軍事・行政組織である（ ）という8つの軍団を組織した。

→八旗に属する軍人を旗人といい、旗地という土地を与えられた。



正白旗

八旗は、黄・白・紅・藍の4色×2の8種類ある。満州族以外に蒙古八旗・漢軍八旗もあった。



ホンタイジ

ホンタイジとは、「皇太子」のような意味の言葉らしく、本名は不明である。

◆（ ）（在位 1626～1643年）

- ・モンゴルの（ ）部を征服し、朝鮮（李朝）を属国とした。
- ・1636年、女真族（満州族）・漢人・モンゴル人の君主として皇帝となった。
→民族名を女真から文殊菩薩に由来する（ ）へと変更した。
→国号を後金から（ ）と改めた。

※新しい民族名の満州は、後に中国東北部をさす言葉となった。

2 明の滅亡と清の中国統一

- ・衰退する明にとどめをさしたのは、重税と飢饉に苦しむ農民の反乱であった。
→1644年、（ ）の反乱軍が北京に迫ると、明の最後の皇帝となった（ ）は自殺して、明は滅亡した。



順治帝

明の滅亡時、順治帝はまだ6歳であったため、叔父のドルゴンが摂政として軍を指揮していた。

◆（ ）（世祖）（在位 1643～1661年）

- ・李自成の乱の際、明の將軍（ ）は、清に備えて万里の長城の東端である（ ）を守っていた。
→明が滅亡すると呉三桂は清に降伏し、一緒に李自成の軍を破った。
→清は（ ）を占領して都とし、（ ）を宮城とした。
- ・明の衛所制に基づき、漢人からなる軍隊である（ ）を編成した。



崇禎帝



景山の木

崇禎帝は、最後の皇帝にしては、政治に熱心で儉約にも努めていた。しかし明の衰退は、彼一人の努力ではどうにもならないところまで来ていた。



呉三桂

なぜ呉三桂は清に降伏したのか？歴史書には、呉三桂の愛した女性が李自成の反乱軍に捕われたことを知り、自暴自棄になったためとある。



康熙帝

戦争中だろうが何だろうが、血を吐くまで勉強したという気合の入った人である。

◆ () (聖祖) (在位 1661~1722 年)

・清に貢献した呉三桂ら 3 人の漢人武将は、() として中国南部の雲南・広東・福建に広大な領地を与えられ、半独立状態となっていた(三藩)。
→1673 年、康熙帝は、中央集権体制を強化するため三藩の廃止を決定した。
→反発した呉三桂らは、() を起こしたが、鎮圧された。

・また () には、オランダ人が居住していた。

→鄭芝竜の息子 () は、台湾西南部のゼーランディア城 (安平城) を占領してオランダ勢力を追放し、そこを拠点に清に抵抗した。
→清は遷界令で鄭氏台湾を孤立させ、1683 年に征服し、中国を統一した。

・ () 部の指導者ガルダンを破って外モンゴルを支配した。

・1689 年、ロシアの () と、() を締結した。

→アルグン川と外興安嶺 (スタノヴォイ山脈) が、ロシアと清の国境となった。



鄭成功

鄭一族は、海上貿易で築き上げた富を用いて、鄭芝竜、鄭成功、鄭経の3代にわたり台湾を支配した。
なお鄭成功は「国姓爺」の異名でも知られる。



『国姓(性)爺合戦』

鄭成功の母は、日本人であった。そのため江戸幕府にも救援を頼んでいたらしい。近松門左衛門の浄瑠璃『国性爺合戦』の主人公は、鄭成功がモデルとなっている。



ロシア皇帝ピョートル1世

北方戦争でスウェーデンを破り、ペテルブルクを建設したロシア皇帝です。身長 213 センチ。ネルチンスク条約は、中国王朝が外国と対等な形で結んだ最初の条約。

・1713 年、土地税である () のなかに人頭税である () を組みこんで (事実上の廃止)、税を一本化する () を実施した。

<清におけるキリスト教>

・明代以降、中国では () が、積極的に布教を行っていた。

→イエズス会は、信者が伝統的な儒教や道教の儀式をすることを認めていた。

→他の宗派はこれを批判し、ローマ教皇も典礼の禁止を通達した。

※この問題を () という。

→康熙帝は怒り、1706 年、イエズス会以外の活動を禁止した。

